

2-3-4 システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究会

(終了/新規)

(A) 旧年度の事業報告 -----

■システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究会

設置期間	2008年4月～2010年3月	
幹事学会	計測自動制御学会	
主査	中森義輝	(北陸先端科学技術大学院大学、計測自動制御学会)
副主査	辻 洋	(大阪府立大学、システム制御情報学会)
幹事	小坂満隆	(北陸先端科学技術大学院大学、計測自動制御学会)
委員	船橋誠寿	((株) 日立製作所、計測自動制御学会)
	松尾博文	(神戸大学、日本 OR 学会)
	栗栖宏充	((株) 日立製作所、計測自動制御学会)

システム構造化や目的達成のための問題の構造化に優れているシステム工学的アプローチと、人間の創造的活動を活性化する知識マネジメント的なアプローチを融合することで、実社会に存在する複雑な問題の解決を目指したフレームワーク構築を行う。本研究会の Ph.2 では、具体的な課題（サービス、環境、情報社会）に対する問題解決方法論を議論し、新たな科学技術領域を確立することを狙いとした。以下は設定した実施項目と、それに対する成果である。

1. システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究

メンバーの持つ問題意識とその課題について、本テーマに照らし合わせた解決方法を議論することで、融合アプローチの必要性を再確認した。また、サービスサイエンスやサービスイノベーションの分野で展開した解決方法論を「横断型科学技術とサービスイノベーション」として書籍にまとめ、2010年3月に出版予定である。

2. 研究会、公開研究発表の実施

2008年9月（北陸地区）、2009年5月（関東地区）計2回の泊り込みの研究会を実施し、研究者間の相互理解を促進した。また、2009年12月に横幹連合コンファレンスにてシステム工学とナレッジマネジメントの融合に関する企画セッションを設け、研究発表を行った。

3. 技術領域確立の検討

システム工学とナレッジマネジメントの融合を新たな技術領域として、大学教育、技術者教育に反映する活動の一環として、北陸先端大社会人大学院 MOS コースの科目、「横断型科学技術論」、「IT サービスマネジメント論」を設け、講義を実施した。

(B) 新年度の事業計画 -----

■システム工学とナレッジマネジメントの融合に関する調査研究会 (Ph.3)

2年間の研究期間を設定し、委員にアクトコンサルティング(株)西岡由紀子氏を加え、本テーマの技術領域としての普及、定着を目指して、以下項目の活動を継続する。

1. システム工学とナレッジマネジメントの融合方法論の調査研究

システム工学とナレッジマネジメント融合の対象領域に、サービス設計、サービスイノベーション、サービスマネジメント等といったサービス研究を設定し、方法論の深化・体系化を進めるとともに、方法論の一般性と対象領域の拡大について議論する。

2. 研究会の実施

本テーマについて集中して議論する場として、年1回計2回の泊り込みの研究会実施を計画する。また、既存学会との共催による公開の研究発表会を適宜計画する。

3. 技術領域普及の検討

システム工学とナレッジマネジメントの融合を新たな技術領域として、大学教育、技術者教育に反映し、広く普及できないかを検討する。